

平成29年3月

JFPA ガイドラインの作成について

(消防ポンプ自動車等)

一般社団法人 日本消防ポンプ協会

平成16年度までは、数多くの消防車両が消防防災設備整備費補助金を活用して購入されていましたが、平成17年度から18年度までの三位一体の改革により、各種補助金が廃止となったことで、大半の消防車両は、自治体の自己資金(一部その他地域性等による補助有)で購入されているのが現状であると思われます。

消防補助金を活用した車両購入(補助事業)では、「補助金交付要綱の補助対象規格」に準拠して購入消防車両の仕様を決定していますが、自己資金による消防車両の購入(単独事業)においては、消防自動車を定義する規格が他にないために、従来の「補助対象規格」を準用して仕様を決めざるを得ないものと思われます。

このため、一般社団法人日本消防ポンプ協会は、平成16年当時の「補助対象規格」を基に、現状に沿った消防ポンプ自動車等の「JFPA ガイドライン」を作成しました。

市町村消防機関と製造会社がこのガイドラインにより共通の認識を持ち、補助事業/単独事業に関わらず消防車両の定義/カテゴリー等を共有することになればと考えています。

また、市町村消防機関にとっては、新たな消防車両を購入する際、仕様書を作成するための一助として頂ければと思います。このガイドラインにより、消防車両の製造会社として、高品質/高性能な製品を提供できればと考えています。

一般社団法人日本消防ポンプ協会は、日本における「日本の消防車両の仕様」を明確に定めておきたいと考えています。

○ JFPAガイドラインの種類

消防ポンプ自動車、水槽付消防ポンプ自動車、化学消防ポンプ自動車
小型動力ポンプ付水槽車、小型動力ポンプ付積載車

